

	ナノ・コートあり	ナノ・コートなし	ナノ以外・コートあり	ナノ以外・コートなし
酸化チタンの原料	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱石 ・酸化チタンの含有率 50%～95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱石 ・酸化チタンの含有率 50%～95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱石 ・酸化チタンの含有率 50%～95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱石 ・酸化チタンの含有率 50%～95%
表面処理の種類	含水アルミナ, シリカ等の無機化合物、脂肪酸やシリコーン等の有機化合物の内、1種または2種以上の組合せ	なし	含水アルミナ, シリカ化合物等の無機化合物、脂肪酸やシリコーン等の有機化合物の内、1種または2種以上の組合せ	なし
製品中の酸化チタン含有率	60%～99%	90%～99%	80%～99.5%	98%～100%
目的・用途	<ul style="list-style-type: none"> ・日焼止め化粧品 ←紫外線カット ・トナー外添材 ←流動性付与, 帯電制御 ・自動車用メタリック塗料 ←意匠性付与 	<ul style="list-style-type: none"> ・触媒←触媒性能 ・日焼止め化粧品 ←紫外線カット ・トナー外添材 ←流動性付与, 帯電制御 	<ul style="list-style-type: none"> ・塗料, インキ, プラスチック, ゴム, 化繊・合繊等の多岐の用途 ←白度や隠ぺい力の付与 ・赤外線遮蔽 	<ul style="list-style-type: none"> ・化繊・合繊, 紙, PETカード, ほうろうや陶磁器のうわ薬等多岐の用途 ←白度や隠ぺい力の付与 ・コンデンサ材料 ←誘電率の付与

※ 平成29年度第1回化学物質による労働者の健康障害防止措置に係る検討会 資料1「日本酸化チタン工業会提出資料」より